

## 1. 授業の概要(ねらい)

日本国の基本法中の基本法である憲法は、国会議員が制定する法律とは異なり、主権者の国民に制定・改正する権利と義務があります。それを理解することに講義のねらいがあります。

日本国憲法は世界各国の憲法の中でも異例の長期間、つまり1947年に施行されて以来今日まで、73年間、細かな勘違いミスも含めて多くの不備欠陥があるにもかかわらず、国民的な怠慢により、一言半句も直されずにきました。そこに用いられている日本語は1946年当時の「現代語」で、現在は一般国民には読めない漢字等が1,000字以上も満載され、現代語・口語への改正が喫緊の課題なのに、六法を出版する編集者の便宜的書き換えにとどまったままです。

修正・改正がなされない最大の原因は、憲法制定権力者である国民に主権者意識が希薄なことでしょう。講義を通じて、受講者にその現状を体感してもらいたいと考えています。

憲法は、国会議員が制定する民法や刑法などの法律とは大きく異なります。憲法は「国民投票」で、つまり、わたしたち国民の判断で改正されます。したがって、国会議員でもない普通の国民であっても、全103か条の憲法各条には目を通し、大まかでもその内容を知っていることが望まれます。

一般職の公務員、警察官・消防官・自衛官の試験でも頻出する憲法問題。就活・試験に役立つ知識を培うことも念頭に置きながら進めます。

憲法Ⅱでは、「国会」「内閣」「司法」「財政」「地方自治」など、政治の構造面を主に勉強します。

授業は毎回録音録画され、履修登録した人は講義終了翌日から学期末まで、ポータルサイト(LMS=学習管理ソフト)で視聴することが可能です。

## 2. 授業の到達目標

基礎的で入門的な知識を理解し現実社会での活用ができる  
主権者としての意識が向上する

## 3. 成績評価の方法および基準

毎回授業で提出返却の小レポート、発言等の評価、及び、期末試験から総合評価

## 4. 教科書・参考文献

## 教科書

読売新聞憲法問題研究会編 電子書籍『初学者が分かる解説日本国憲法』(2019年 読売電子書籍用テキスト)毎回LMSで配信します。 読売新聞東京本社

## 参考文献

松浦一夫ほか編著 『憲法概説』(2017年)本体3,000円 成文堂

芦部信喜著・高橋和之補訂 『憲法 第七版』(2019年)本体3,200円 岩波書店

西修著 『世界の憲法を知らう』(2016年)1,620円 海竜社

## 5. 準備学修の内容

LMS配信の資料、プリントを中心に予習し、授業のあったその日のうちに習ったことを確認しておきます。復習が中心です。この積み重ねを着実に実行することで、期末の総まとめ(授業内試験)の負担を軽減することを勧めます。

## 6. その他履修上の注意事項

シラバスは目安で、適宜変更することがあります。近年まで読売新聞で政治・外交・憲法担当の政治記者だった特徴を生かし、日々の新聞報道を活用した授業、毎回のレポート提出・添削を心がけます。

授業中の行動はすべて就活に直結すると考えて、授業冒頭のあいさつをはじめ、礼儀正しく、前向きに、また集中して臨みましょう。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 憲法第3章第31～40条の刑事関係条文(春学期に到達できなかった部分)
- 【第2回】 第4章 国会の運営
- 【第3回】 二院制
- 【第4回】 第5章 議院内閣制度
- 【第5回】 非常事態
- 【第6回】 裁判所
- 【第7回】 違憲立法審査
- 【第8回】 憲法裁判所
- 【第9回】 財政
- 【第10回】 地方自治
- 【第11回】 条約、憲法附属法
- 【第12回】 憲法改正
- 【第13回】 新しい条文案
- 【第14回】 おさらいと改正試作
- 【第15回】 おさらいと授業内試験に代わるレポート(複数課題の中から1テーマを選ぶ)